

# 第58回日本眼光学学会総会

アフタヌーンセミナー

日時▶2022年9月3日(土) 16:45~17:35

会場▶第2会場(旭川市大雪クリスタルホール 大会議室)

## 医師の夢を現実にした装置： 広角撮影に適した 走査型レーザ検眼鏡

### 座長のことば

走査型レーザ検眼鏡は、スポット光を眼底上で走査することで眼底撮影が可能な装置として用いられてきた。近年、広角眼底検査が可能となり、その臨床的優位性から広く用いられるようになってきたが、広角眼底撮影のみならず様々な付加価値を有する装置が開発されてきている。本セミナーでは、この技術を応用した装置を開発している代表的な3つの企業に、現在市販されている装置の特徴と本学会のテーマでもある将来に向けた「夢」を語ってもらうようお願いした。本セミナーに参加した皆様は、広角眼底検査の有用性と将来性を認識することができるのみならず、未だ使用経験のない眼科の方々にとっては導入のきっかけになることを願っている。

座長



石子 智士先生

旭川医科大学医工連携総研講座 特任教授

演者



### Fundus Cameraから Fundus Imagingの時代へ

奥村 海咲

カールツァイスメディテック株式会社



販売名:走査型超広角眼底撮影装置 CLARUS

演者



### SS-OCT付き超広角 眼底カメラの活用と期待

上野 太郎

株式会社ニコン



販売名:SS-OCT付き超広角走査型  
レーザ検眼鏡 Silverstone

演者



### カラーSLOの読影

市川 明

株式会社ニデック



販売名:共焦点走査型ダイオードレーザ検眼鏡 Mirante